

1. 「チャレンジフィールド北海道」とは

2. 令和3年度の振り返り

2-1. 大学シーズ起点の「事業創出プロジェクト」立上げ

2-2. 地域課題起点の「課題解決プロジェクト」立上げ

2-3. 共創基盤の構築

2-4. 普及啓発・広報

3. 各地域での活動

<p>参画機関</p>	<p>帯広畜産大学、 OMEGAファーマーズ、 (株)コスモ、北海道銀行等</p>	<p>推進計画名</p>	<p>ビッグファーマーズと共創する 植物由来資源利用活性化</p>
-------------	---	--------------	---------------------------------------

R2
FS調査

植物由来ω3油残渣未利用資源が生み出す
食品の高付加価値化

- 菜種、荳胡麻、亜麻のω3含有植物油残渣利活用
- 食品素材関連企業とのマッチング、商品化
- 北海道銀行等金融機関や自治体との連携、地域活性化

資金獲得
支援

ノーステック財団
イノベーション創出研究支援事業
スタートアップ研究補助金

道産エゴマ等搾油残渣の有効利用による
食品の高付加価値化

帯広畜産大学 池田教授 / 合同会社 OMEGA ファーマーズ

栽培・収穫ノウハウの蓄積により、
国内初のエゴマ等の大規模生産を実現
搾油残渣の活用や油の高付加価値化が課題

搾油残渣に多く含まれる
ペクチンやタンパク質等の有効利用技術を開発

天然の安定剤や調味料等の活用で
事業化をめざす

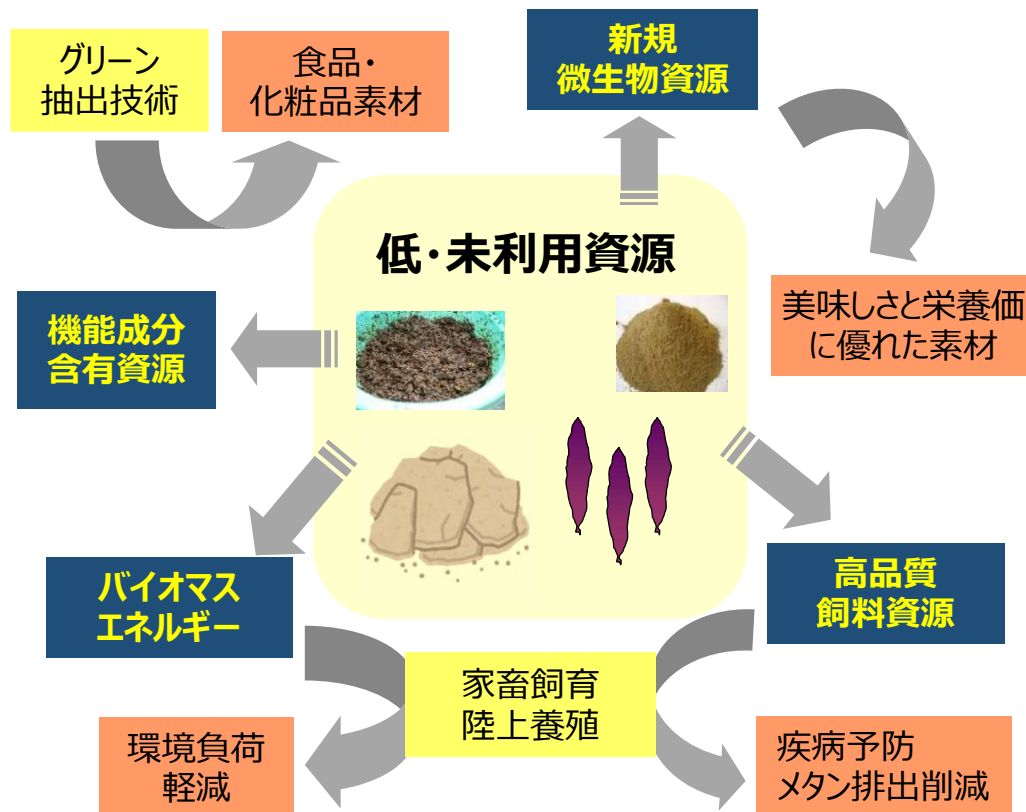


参画機関	帯広畜産大学、 北海道大学	推進計画名	農・畜・水産融合型 資源活用システムの構築
------	------------------	-------	--------------------------

R2 FS調査 農・畜・水産排出物の循環型資源活用技術の開発

機会提供 超異分野学会北海道フォーラムにてセッション登壇

十勝を実証フィールドとし、農・畜・水産由来の低・未利用資源を活用し、新たな素材や飼料、エネルギー源の開発を行う。



機会提供 Open Innovation Challenge Pitch 2021



オープンイノベーションに取り組む大手企業に課題解決を提案

帯広畜産大学 宮下先生がエントリー

北海道宇宙サミットへの協賛・展示

2021年11月4日(木)～5日

道内外の宇宙コミュニティのネットワーク強化を目的とし、北海道宇宙サミットへ協賛し、イベント出展



チャレンジフィールド北海道の
活動紹介展示



帯広街づくりに関する意見交換会への協賛・講師招聘

2022年5月12日(木)

市街地の再活性化と産業の更なる発展の両輪で、輝く十勝をめざす意見交換会に専門家を招聘



京都大学 人と社会の未来研究院
広井 良典教授

専門領域 公共政策・科学哲学



室蘭工業大学 地域教育・連携センター
那須 守教授

専門領域 まちづくり・若者活躍

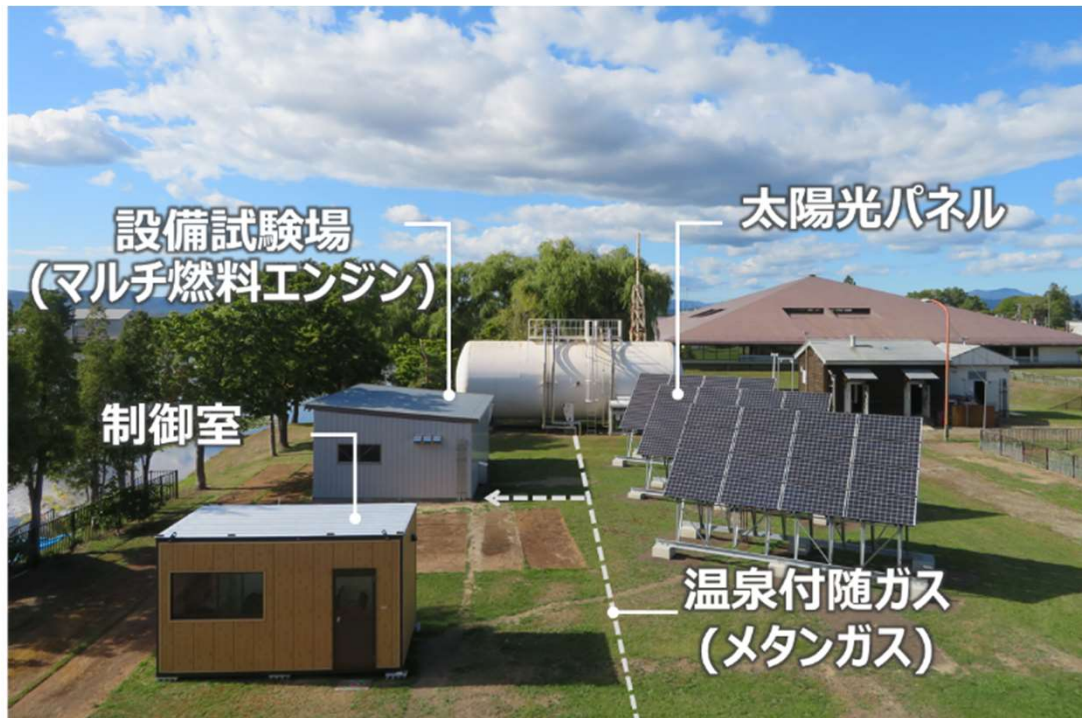


意見交換会の様子

参画機関	北海道大学 岩見沢市	事業名	地域の再生可能・自立型エネルギーシステムの構築
------	---------------	-----	-------------------------

- 温泉付随メタンガス、廃棄農作物由来バイオエタノールなどの多様な燃料に対応した「マルチ燃料エンジン」と太陽光発電をミックス、農業支援応用の実証試験を実施

岩見沢市北村赤川鉦山 自立型地域エネルギーシステム実証サイト



https://www.hitachi.co.jp/rd/news/topics/2021/2111_ing.html

